

大阪アピール

2021衆議院選挙

私たちは、
こんな政治を求めます！
市民のちからで政権交代を！

一いのちと人間の
尊厳を守る
「選択肢」を一

自・公政権には、コロナ対策は任せられません

自・公政権のコロナ対策は、とても対策と呼べるものではありません。後手後手の対策、そして、打つ手なし。お手上げ状態です。専門家の意見にも耳を傾けず、広範な市民を対象にしたPCR検査を実施することなく、GOTOキャンペーンやオリンピックに明け暮れました。

助かる命も助からないという医療崩壊は、自公政権の下での病床数の削減や保健所の縮小などが背景にあります。飲食店への営業補償は十分ではなく、働く機会を失った人々への救済もまったく不十分です。私たちは、このコロナ危機において、科学的で本気に、いのちと暮らしを守る政治を求めます。

政治の私物化の幕引きは許さない 政権交代で徹底解明を



日本では獣医師が余っていて、獣医学部の新設は認められないというときに、安倍首相は、「国家戦略特区」という普通では認められない特別な制度を活用して、親友が経営する学校法人に獣医学部新設を承認（加計学園問題）。

児童に「教育勅語」を暗唱させるという異常な教育を行う森友学園に、小学校建設のため、9億5,600万円の国有地を1億3,400万円で払い下げた（森友学園問題）

税金で賄われる「桜を見る会」に安倍後援会員を多数招待、その前日、都内有名ホテルで前夜祭を開催。一人1万1,000円かかる費用を会費5,000円で。その差額6,000円は安倍後援会の負担。

これらの問題を国会で追及されるや虚偽答弁の連発、さらには、公文書の改ざんなど無茶苦茶なことがまかり通っています。森友学園問題では公文書改ざんを強いられた職員が自らの命を絶つという悲惨な出来事もありました。これら政治の私物化には、徹底解明が必要です。

～未来を変えるのは私たち～

市民のちからで
政治を変える！
大阪アピール

安倍政権は、2015年9月、日本が海外で戦争できる法案を強行採決しました。それをきっかけとして「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」が結成され、選挙においても、市民と野党が共同して、政権交代をめざしてきました。
その後、市民連合は全国各地で結成され、これまで、参院、衆院選挙で、市民と立憲野党の共闘を進めてきました。大阪でも19の小選挙区でそれぞれ市民連合が結成もしくは結成されつつあります。「市民のちからで政治を変える！大阪アピール」は、大阪各地の市民連合のプラットフォームとして活動しています。市民は、政治の受け手ではなく、積極的に政策に関与していくべきだというまったく新しい市民運動です。みなさまの参加をお待ちしております。

私たちが政権交代で望むこと

5つ

命と生活を守る コロナ対策

- ・ 自宅で死亡や重症化を防ぐ手立て
- ・ 医療体制の充実、医療従事者の待遇改善
- ・ 営業補償や失業者への速やかな救済

憲法に基づく 政治を回復する

- ・ 安保法制など憲法 9 条違反の悪法を廃止する
- ・ 辺野古での新基地建設を中止する
- ・ 戦争で血を流さず、外交で汗を流し、アジアに平和を

格差と貧困を 是正する

- ・ 最低賃金を 1,500 円に引き上げる
- ・ 住宅・教育・医療・介護などでの公的な支援を強める
- ・ 富裕層へもっと税を
- ・ 消費税を減税

一人ひとりが 大切にされる社会を

- ・ ジェンダー・人種・年齢などによる差別を許さないルールをつくる
- ・ 希望をもって働けるルールをつくる
- ・ 保育・教育・介護など家族が安心して生活できる予算を

地球環境を守り、持続可能な社会を

- ・ 再生可能エネルギーの普及に力を入れる
- ・ 原発のない脱炭素社会を実現する。
- ・ 農業支援で食料自給率アップ



ストップ！ 維新 政治

大阪では維新政治のもと、教育が壊され、社会保障が切り捨てられています。

大阪市を廃止する住民投票で二度も否決されたのに、大阪市の財源と権限を大阪府に吸い上げる条例を強行可決し、市民の意思を完全に無視しました。さらに、大阪にカジノを誘致しようとしています。絶対に認められません。

最近、現職の校長先生から、大阪市の教育について、次のような提言もなされています（一部抜粋）。

現職の校長先生からの提言

学校は、グローバル経済を支える人材という「商品」を作り出す工場と化している。そこでは、子どもたちは、テストの点によって選別される「競争」に晒される。コロナ禍の現在、中高生の自殺が急増するなかで、オンライン授業の結果、学校現場は混乱を極め、保護者や児童生徒に大きな負担がかかっている。

